

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	◎	－	－	－
	○	一般小売店 [靴]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍であるが、新規、リピート客いずれも前年度より業績が上がっている。
	○	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、既存店の来客数が、前年を下回っているものの、12月までと比べると、増加している。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・10月以降、来客数は徐々に増加している。ただ、1月に入り、売上が伸び悩んでいる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型車の発売で、景気は多少良くなっている。
	○	その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響がありながらも、来客数が少しずつ増加し、客の買物意欲も高まっていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現で、新規感染者数が増加してからは、客が少しずつ外出を控えている。
	○	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料金延滞が微減であるので、家計状況は良い方向に向かっていると判断できる。
	○	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、売上が若干増加している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月の年末セールなどでまとめ買いした客が多いので、今月は来客数が減少し、客単価も低下している。
	□	一般小売店 [眼鏡]（経営者）	来客数の動き	・県を越える移動の自粛もあり、消費が落ち込んでいる。
	□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・売上は月初めまで好調に推移していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、中旬から低迷している。月末には県内がまん延防止等重点措置の適用となったため、しばらくは厳しい状況となる。
	□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、来客数や販売量が減少している。
	□	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、月中旬の冬のセールが一段落した辺りから客の流れが変化している。ただ、県外に出掛けず、県内にとどまる動きもあるため、売上に大きな変化はみられない。
	□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ラグジュアリーブランドの洋服やバッグなどが売れ、数十万円の売上が何件か出ている。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、客の来店頻度が減少傾向にあり、割引デーへの集中傾向も強くなってきている。今後も、現在の状況から劇的に回復、改善していく見通しが立たない。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は上昇したが、来客数に変化はない。
	□	スーパー（店長）	お客様の様子	・客の来店頻度が減少し、購買点数が上がらない現象が続いている。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・ほぼ横ばいであった販売量が、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、若干伸びつつある。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・今月上旬まで景気は回復基調にあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、来客数が徐々に減少している。
	□	スーパー（店長）	単価の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、客が週末に商品を買いだめし、平日は無駄な買物はしない傾向にあり、客単価が前年割れとなっている。
□	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数や客単価は前年と変わらないが、買上点数が減少している。	
□	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていた時期に、相次ぐ商品価格の値上げで、上昇しかけた景気が停滞してしまった。今は再び新型コロナウイルスが猛威を振るってきているため、客が来店を控えている。	
□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比べ、来客数が伸び悩んでいる。	
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前月から状況が変わっておらず、来客数が伸びていない。	

□	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・販売台数は前年を維持しているが、新車の販売台数は減少している。
□	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・車の生産が回復してきたものの、新型コロナウイルス第6波の影響で、来客数が減少したため、景気は変わらない。
□	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスが再び流行してきたので、販売が徐々に低調になってきている。
□	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・県の観光振興策等により、来客数が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス第6波やまん延防止等重点措置の適用の影響を受け、キャンセルが続出している。
□	旅行代理店(支店長)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、旅行予約のキャンセルが相次ぎ、厳しい状況となっている。
□	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大による店舗等への規制の影響で、消費が停滞している。
□	通信会社(経理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が多少なりとも続いているが、新規開通エリアの拡大に伴い、問合せも多いため、景気は変わらない。
□	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに関する政府の対策がなされていないため、景気は良くなっていない。
□	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスが長期化していることから、客の引き合いが低迷し続けている。
□	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・建築は全体的に動きが良くない。寒波や新型コロナウイルスの影響で、景気は冷え込んだ状況である。
▲	商店街(理事)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の動きが悪くなっている。
▲	一般小売店[印章] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で人の流れが悪くなっている。
▲	一般小売店[茶] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、あらゆる営業の動きが停止している。地元百貨店の当社の出店で初めて1日の売上0円を記録している。
▲	一般小売店[食品] (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の巣籠り需要で前年は売上、来客数、客単価が上昇していたが、ウィズコロナで前年から巣籠り需要が落ちてきているため、来客数が減少している。
▲	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・月初めは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、前年と比べ初売りもにぎわっており、帰省した若者や家族連れの来客数も前年を上回っていたが、中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の影響もあり、来客数が日を迫るごとに減少している。
▲	百貨店(営業企画担当)	来客数の動き	・初売りから14日までは来客数や売上が大幅に増加したが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現による新規感染者数の増加に伴い、来客数や売上が急激に減少しており、バレンタイン商戦も苦戦している。
▲	百貨店(外商担当)	お客様の様子	・今月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、県内の新規感染者数が最多を更新する日が続いているため、来客数が大幅に減少している。
▲	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・客単価がなかなか上がってこない状況である。
▲	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・月前半は好調に推移していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、来客数が一気に減少している。
▲	コンビニ(副地域ブロック長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響が出てきている。主に夕方から夜の来客数が減少してきており、1日の売上も減少傾向にある。
▲	コンビニ(支店長)	来客数の動き	・正月は来客数が回復していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、週末を中心に来客数が減少している。予約催事商品の申込みが減少しており、無駄なことに金を使わない傾向が出ている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	それ以外	・株価の急落が気になっている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大したため、客は着物を着て出掛けることができなくなっている。
▲	家電量販店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、来客数や売上が減少傾向にあり、特に大型家電の売行きが不調である。

▲	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、客の動きが鈍くなってきている。新型製品を案内すると、客に来てもらえるが、自発的に店を訪れる客は見込みづらくなってきている。
▲	その他専門店 [和菓子] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響が大きく、景気はやや悪くなっている。
▲	その他専門店 [布地] (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大で、街にはほとんど人がいない。
▲	その他専門店 [時計] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、外出を自粛している人が多く、商店街も人通りが少ない。
▲	その他専門店 [土産物] (経営者)	来客数の動き	・隣接する市で感染が拡大しているため、来客数がかかなり減少している。集客のためのイベントが開催できず、状況はかなり悪くなっている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、今月中旬から来客数の減少が顕著であり、特に週末の減少幅が大きくなっている。部門別では、飲食店の利用減少が大きく、今後、1か月間は厳しい状況が続く。
▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・最近特にディナー時間の来客数の減少幅が大きい。1組あたりの来客数の減少も顕著であり、客単価も減少傾向にある。
▲	バー (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、景気はやや悪くなっている。
▲	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、市場は一気に冷え切り、キャンセル、延期などで宿泊や宴会の需要が激減している。1～2月の食事を伴う宴会のほとんどがキャンセルとなっている。駅周辺の人流が極端に減少しており、大型ショッピングセンター店の来客数にも影響している。
▲	旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、旅行どころではなくなっている。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・前年末には新型コロナウイルスに終息の兆しがみえ、街中のにぎわいが戻り、売上も増加したが、1月に入り、一気に感染が拡大し、中旬頃からは3か月ぐらい前のように人の動きが止まり、活気がなくなっている。
▲	通信会社 (工事担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用の影響で、景気はやや悪くなっている。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・サブスクリプション系サービスの内容や契約の見直しが増加しており、月々の出費を抑える傾向が強まっている。
▲	観光名所 (管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い、レストランの予約のキャンセルが目に見えて増加している。
▲	ゴルフ場 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大で、先の予約や直前の予約のキャンセルが増加している。
▲	設計事務所 (経営者)	単価の動き	・仕入商品の単価の上昇や納期遅延により、契約までの意思確認や意思決定が長期化している。
▲	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急拡大により、商談や打合せに慎重な客が増加している。
▲	住宅販売会社 (営業所長)	来客数の動き	・客が購入の意思がある程度明確になってから、事前予約をして訪問するケースが一般的になっており、潜在的客に対し課題提案営業をして、顕在化することで、市場を掘り起こすのが難しくなっている。
×	商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、景気が一気に下向きに転じている。
×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、飲食店のみならず多くの店の売上がかなり減少している。まん延防止等重点措置で協力金が出るのがなぜ飲食店だけなのかが疑問という声大きい。
×	商店街 (代表者)	単価の動き	・今月も厳しい状況が続いている。

	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置の適用が続いているため、商店街への買物客は、ほとんどなく、街はゴーストタウンになっている。駅前に唯一残っていたパチンコ店も1月に閉店し、残っている小売店も少なくなっている。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	販売量の動き	・寒さが厳しく、新型コロナウイルスの影響も続いているため、売上が回復していない。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・11月頃～今月上旬までは前年を上回る推移であったが、まん延防止等重点措置の適用後は来客数や売上が急激に減少している。
	×	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用により、客の訪問が途絶えている。
	×	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・月初めは良かったが、まん延防止等重点措置が適用されて以降、来客数が7割以下になり、売上が前年の9割程度まで激減している。
	×	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1月の販売量は前年比51%と大変厳しい状況である。
	×	高級レストラン（事業戦略担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用が決まって以降、キャンセルが相次いでいる。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・仕事関係の飲食が激減した一方で、家族連れや若者の友達同士の利用が増加し、売上が従来の7～8割まで回復していた。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の出現で、来客数が減少し、ランチの売上も半減となっている。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、営業を自粛しているため、売上がなく、非常に困っている。
	×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・正月明けより新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、来客数に大きな影響が出ている。まん延防止等重点措置が適用されてからは酒類の提供もできなくなったため、キャンセルが増加している。当月に入っていた予約の8割くらいがキャンセルとなっている。
	×	観光型ホテル（副支配人）	それ以外	・1月に入って、まん延防止等重点措置が適用されたため、施設が休館となり、全ての予約がキャンセルになっている。
	×	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波で大打撃を受け、新型コロナウイルス初期と同水準の来客数の減少となっている。客の外出控えもあるが、休業している店が多いことで消費する場所がなくなっている。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・年明けからの新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、新規予約が伸び悩み、まん延防止等重点措置の適用で、キャンセルが多発している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、利用客が半減するなど状況はかなり悪くなっている。臨時休業する店舗も多くなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されて以降、状況が全く良くない。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、飲食店も早々と閉店していることから、景気は悪くなっている。
	×	通信会社（広報担当）	来客数の動き	・長引く新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。
	×	テーマパーク（業務担当）	それ以外	・まん延防止等重点措置の影響で、景気は悪くなっている。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加し、人の動きが一気になくなっている。
	×	美容室（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大で、外出できない客が増加しているため、景気の悪い状況が続いている。
	×	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用で、景気は悪くなっている。
企業動向関連	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元完成車メーカーの生産回復に伴い、景気が良くなっている。
(中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・1月の主要客からの受注量は、前年並みであるが、落ち込みがひどかった3か月前と比べると、大幅に増加している。

○	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・仕入れ、販売を含め、品不足から様々な商品が値上げ傾向にあり、様子見の状況にある。
○	輸送業	受注量や販売量	・客の出荷が増加している。
○	不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べ、来客数や成約件数が約3割程度増加している。
○	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で一時停滞した取引先の活動が上向いているため、アウトソーシング引き合い案件が増加している。
□	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年が明けて、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるが、受注に変化はない。
□	食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、外出者も増加していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の出現により厳しい状況になっている。
□	繊維工業（財務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、消費行動が抑制されている。
□	木材木製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・過去の受注残もあり、現時点では、1月に入ってからの新型コロナウイルスの急激な感染拡大の影響を余り受けていないが、今後の動向が心配である。
□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注が好調で生産は高水準で推移している。大口案件の生産が終了したが、次の大口案件の生産が始まるため、当面は現在の生産水準が継続する。
□	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・現時点では、新型コロナウイルスの新規感染者数増加による環境変化はない。
□	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注は堅調に推移している。
□	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・金属価格が高値で推移し、電子材料関係の素材受注も堅調に推移している。
□	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械業界は好調であるという新聞記事を目にするのが、好調なのは中小型機械が中心で、大型機械用の部品を製造する当社への影響はそれほど大きくなく、3か月前と比べても受注は同水準である。
□	輸送業（総務・人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年から受注量に変化はない。
□	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・データセンターやクラウドのニーズは情報通信やICT関連への投資計画に基づくもので、新型コロナウイルスや景気に余り左右されていないため、好調を継続している。ただ、県外などへの移動が難しくなっており、計画が少しずれる可能性はある。
□	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・半導体不足の解消が徐々に進み、地元完成車メーカーの国内生産がフル操業をやや下回る水準まで回復してきたため、系列の地元部品メーカーの受注も増加傾向となっている。操業率も上がり、残業対応する企業も出ている。
□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注量が減少傾向にある。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・今月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加し、当社や取引先にも感染者が出ていることで、機械装置は生産調整を余儀なくされている。また、車載関係でも工場の稼働停止等により、電子部品や印刷製品の生産が減少する見込みである。
×	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・まん延防止等重点措置の適用により、居酒屋等が営業時間の短縮や休業をしているため、買参人がほとんど買い付けをしてくれない状況である。
×	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・資材の高騰や納期遅延など悪い話題ばかりである。新型コロナウイルスの感染拡大で、稼働中の現場が最悪停止になるリスクもある。
×	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・全国的な新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、特に1月中旬以降、ヒト、モノの動きが停滞し、取引先の売上低迷が目立ち始めている。
×	コピーサービス業（管理担当）	取引先の様子	・まん延防止等重点措置でテレワークが増加し、コピー出力の需要は減少している。
雇用	◎	—	—

関連 (中国)	○	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・令和3年12月の新規求人数は前年同月比で7.9%増加している。産業別では教育、学習支援業、公務以外の産業で増加に転じていることから、新規求人数から判断すると景気は徐々に良くなっている。ただ、令和4年1月に発出されたまん延防止等重点措置により、景気にどの程度、影響が出てくるのか先行き不透明な状況である。
	□	人材派遣会社（経営戦略担当）	採用者数の動き	・採用者数の状況に大きな変化がなく、新型コロナウイルス流行前の求職者数に回復する兆しがない。
	□	求人情報誌制作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・インターンシップを対象とした早期合同説明会は、10～12月に再開し、対面実施していたが、1月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加を受け、まん延防止等重点措置が適用された途端、状況が一変している。合同説明会は軒並みWebに変更され、新型コロナウイルス初年度に比べ、Webでの動員も減少している。2月以降も感染の状況を見ながら、対面実施が中止され、軒並みWeb合同説明会になる可能性が高い。ただ、企業の新卒採用の予定数に大きな変化はない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・観光業やサービス業の景気は、年内までは回復傾向にあったが、新型コロナウイルスの感染拡大によって、再び足踏み状態となっている。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、新型コロナウイルス療養施設の看護師の大口求人数があったこともあり、医療・福祉が前年から3割の増加となったほか、多くの業種で新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きを期待して求人数が増加したことから、全体でも前年から1割の増加となっている。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・3か月前と比べ、秋採用の求人数が余り増加していない。
	▲	職業安定所（雇用関連担当）	周辺企業の様子	・月間有効求人数は前年同月から7.9%の増加、月間有効求職者数は前年同月から1.1%の減少となっている。県内外で新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、宿泊・飲食業で予約件数や来客数の減少傾向が出てきている。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・年明け早々の新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大を背景に、飲食店の営業時間短縮や休業が相次いでおり、経済活動が停滞し始めている。
	▲	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・人材紹介に関する問合せ数が前月から25%減少している。新型コロナウイルス禍で、転職活動に少し消極的になり、情報収集はするが、応募までは至らない様子である。
×	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響により、企業の採用意欲の低下や求人数の減少が著しい。	